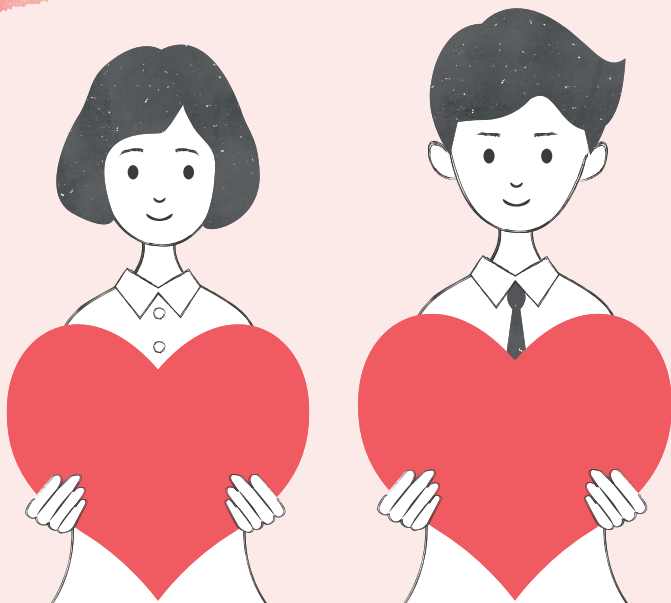


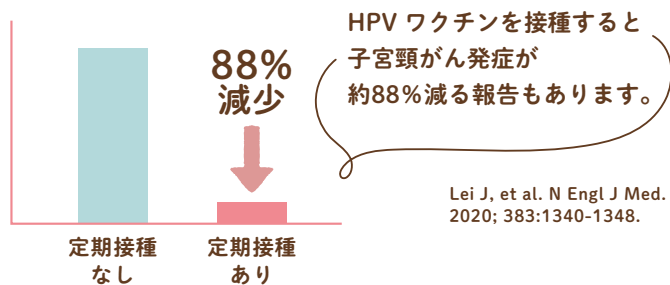
子宮頸がんは、HPVワクチンで予防できます。



HPV（ヒトパピローマウイルス）は、
子宮頸がんだけでなく、
肛門がん・陰茎がん・中咽頭がんなど、
男女ともに関わるウイルスです。

海外では HPV ワクチン接種率が
80%を超える国もあります。
早い時期の接種ほど、高い予防効果が期待できます。

浸潤子宮頸がんの予防効果



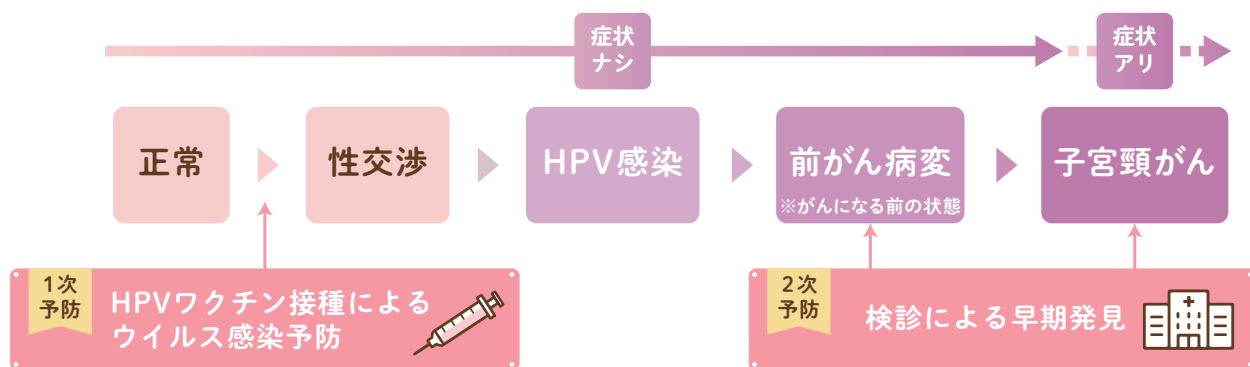
HPV ワクチンを接種した女の子の割合（2022年）

カナダ	86.0%
オーストラリア	80.3%
イギリス	67.3%
アメリカ	63.8%
ドイツ	53.4%
フランス	41.5%
イタリア	38.8%
日本（2023年）	13.1%

全世界で 90% の接種で
子宮頸がんを排除できる
可能性があります。

厚生労働省 定期の予防接種実施者数
厚生労働省 HPV感染症リーフレット（詳細版）

HPV ワクチン接種だけでなく、定期検診による早期発見も大切です



定期接種対象者

小学6年生～高校1年生相当の女性

女性の定期接種（公費接種）の期間は、**高校1年生の3月31日まで**です。

高校1年生の9月までに1回目の接種を済ませることをおすすめします。



HPV ワクチン接種の流れ

1

病院を選ぶ

希望する HPV ワクチンの接種ができる医療機関を探しましょう。予防接種を行っている医療機関がわからない場合は、市区町村のホームページを検索してみてください。

市区町村名 HPV 予防接種 医療機関 検索

2

予約を入れる

医療機関に連絡して、ワクチン接種の申し込みをしましょう。希望するワクチンの種類も必ず伝えてください。ワクチン予防接種予診表がない場合や、通知書に同封されていない場合は、病院に伝えておきましょう。

3

病院に行く

病院に着いたら受付を済ませ、注意事項を確認の上、予診表に記入し体温を測りましょう。
※母子健康手帳（13 歳以上の方は、接種済証、接種記録カードでも可）と、予診表がある場合は持参してください。

4

医師の予診

医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

5

ワクチン接種

ワクチンを接種します。通常は座った状態で腕の筋肉に注射しますが、横になって打つこともできますので、医師に相談してください。接種後は 30 分程度、病院にて座って安静にいただきます。
※ワクチン接種は合計 2 回または 3 回必要ですので、次回の接種日も考えておきましょう。医師による問診がありますので、もし他の ワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

ワクチン接種スケジュール

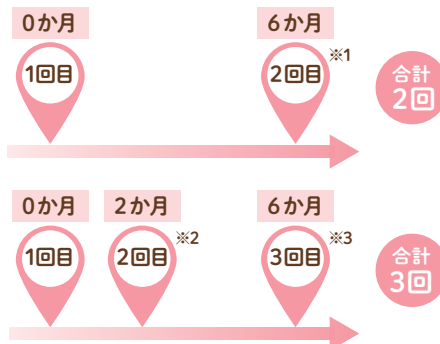
初回→2 か月後→6 か月後の計 3 回接種が必要です。

接種の際は、副反応や学校行事の時期を考慮し、2 回目・3 回目も含めて余裕をもったスケジュール計画をおすすめします。

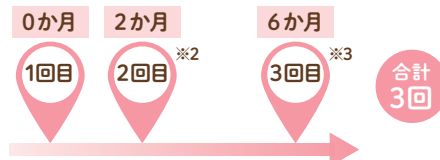
シルガード®9

9 価ワクチン

1 回目の接種を 15 歳になるまでに受ける場合



1 回目の接種を 15 歳になってから受ける場合



ガーダシル®

4 価ワクチン



サーバリックス®

2 価ワクチン



3 種類いずれも、1 年以内に接種を終えることが望ましい。

※1 : 1 回目と 2 回目の接種は、少なくとも 5 か月以上あけます。5 か月未満である場合、3 回目の接種が必要になります。

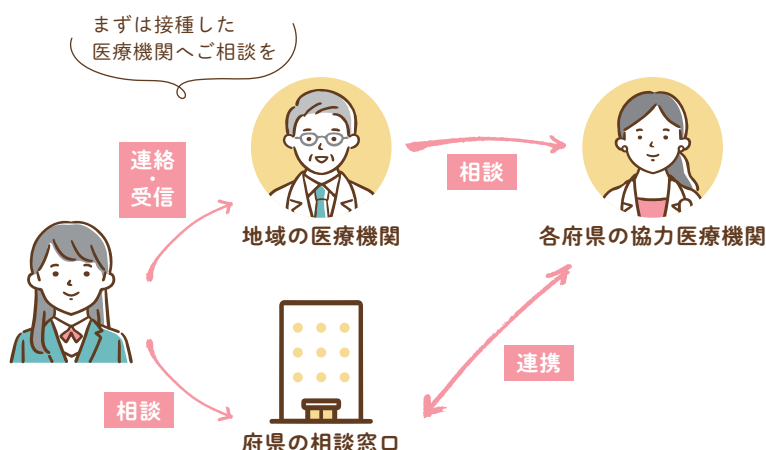
※2・3 : 2 回目と 3 回目の接種がそれぞれ 1 回目の 2 か月後と 6 か月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 か月以上（※2）、3 回目は 2 回目から 3 か月以上（※3）あけます。

※4・5 : 2 回目と 3 回目の接種がそれぞれ 1 回目の 1 か月後と 6 か月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 か月以上（※4）、

3 回目は 1 回目から 5 か月以上、2 回目から 2 か月半以上（※5）あけます。

※6 : 令和 8 年度からサーバリックス及びガーダシルを定期接種で用いるワクチンから除き、シルガード 9 のみが定期接種で用いるワクチンとなる予定です。

HPV ワクチン接種後の症状に関してのご相談は以下をご参照ください。



- HPV ワクチン接種後には、接種部位の痛みや腫れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重大な副反応（ギラン・バレー症候群、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、その他の副反応）が起こることがあります。
- HPV ワクチン接種後に気になる症状が出現した場合は、まずは接種を受けた医師・かかりつけの医師にご相談ください。各都道府県で選定された協力医療機関の受診については、接種を受けた医師・かかりつけの医師とご相談ください。
- HPV ワクチン接種後に出現した症状に関して、不安や疑問、困ったことがあるときは、お住まいの府県に設置された相談窓口にご相談ください。